



2026年6月23日

各位

会社名 インフォメティス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 只野 太郎  
(コード番号: 281A 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 CFO 兼 COO 横溝 大介  
050-8882-9931 (IR 問い合わせ先番号)

## 欧州本土への事業展開に向けた取り組み開始に関するお知らせ

～ 英国 10 年の実績、世界初 NILM 国際標準化、Fit for 55 の追い風を背景に、欧州本土での成長機会獲得を加速 ～

当社は、連結子会社である Informatis Europe Ltd. (所在地: 英国ケンブリッジ、以下「IMTE」といいます。) において、ドイツ・イタリア・フランスを中心とする欧州本土市場への本格的な事業展開を目指した調査・検討を開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

今般の取り組みは、英国における約 10 年間の事業実績と技術実証及び当社が主導してきた機器分離推定技術 (以下「NILM」といいます。) の国際標準化の成果を背景として、当社グループが欧州本土における次なる成長機会を確実に捉えるための重要な一歩です。欧州の脱炭素政策と電化シフトの進展を追い風に、当社グループはエネルギーAI 領域におけるプレゼンスを一段と高め、中長期的な収益拡大と企業価値向上を目指してまいります。

### 1. 背景と戦略的意義

#### (1) 英国 10 年で築いた欧州事業基盤

IMTE は 2014 年の設立以来、英国ケンブリッジを拠点に、欧州圏での AI 研究開発及びエネルギーマネジメントサービスの実装を推進してまいりました。英国では、ヒートポンプ (電気給湯器) 関連のクラウド制御サービス提供や、電力データを活用した生活支援ソリューションの展開を通じて、当社グループの技術が現地の実需に根差した形で価値を生み出すことを実証してまいりました。加えて、IMTE は設立 10 周年を迎えており、欧州での継続的な事業活動を通じて蓄積した顧客基盤、パートナー網、現地知見は、今後の欧州本土展開を支える大きな経営資産です。

#### (2) 世界初 NILM 国際標準化がもたらす信頼性と競争優位

当社は、NILM に関する世界初の国際標準化を主導してまいりました。2021 年には IEC TS 63297 が発行され、さらにその後の活動を経て、2025 年には正式な国際規格 IEC 63297:2025 として発行されました。さらに 2026 年には、当社主導の国際標準化が経済産業省の成功事例として紹介されております。これは、当社技術が先進性だけでなく、国際的な信頼性、普及可能性、実装可能性を兼ね備えた技術基盤であることを示すものであり、欧州市場における事業展開の説得力を大きく高めるものと考えております。

#### (3) Fit for 55 が生み出す大きな市場機会

EU では、2030 年までに温室効果ガス排出量を 1990 年比で少なくとも 55% 削減する目標の実現に向けた政策パッケージ「Fit for 55」が 2021 年 7 月に公表されて以来 5 年が経過する中、建物分野の省エネルギー化、再生可能エネルギーの導入拡大、ヒートポンプ (電気給湯器) をはじめとする電化設備への移行、需要調整機能の強化が加速しております。こうした制度変化は、当社が強みを有する AI エネルギーマネジメント、NILM、ヒートポンプ (電気給湯器) 制御、電力需要予測といった領域に対する需要拡大を中長期的に後押しするものです。制度が市場を押し上げ、その市場拡大が当社技術の実装機会を広げるといった構造的な追い風が、いま欧州で立ち上がりつつあります。

#### (4) 欧州本土で狙う次の成長ステージ

当社グループは、英国での10年間を「欧州における技術実証・事業基盤構築フェーズ」と位置付けております。そして今般、ドイツ・イタリア・フランスを中心とする欧州本土市場に向けて、「本格展開フェーズ」へと歩みを進めます。ドイツは欧州最大級のヒートポンプ（電気給湯器）・需要調整市場、イタリアは住宅改修と電化需要が厚い成長市場、フランスは電化住宅・省エネ改修を背景に高度なエネルギー最適化ニーズが見込まれる有望市場であり、いずれも当社技術との親和性が高い地域です。英国で培った実績、国際標準化の成果、そして欧州の政策的追い風を掛け合わせることで、当社グループは欧州本土での事業機会獲得を加速してまいります。

#### 2. 取り組みの内容

本取り組みでは、以下の事項を重点的に推進してまいります。

- 【重点市場調査】 ドイツ・イタリア・フランスを重点市場として、Fit for 55 関連制度、補助金政策、電力規制、競争環境及び顧客ニーズの詳細調査を実施
- 【拠点候補の検討着手】 現地法人設立、支店設置、戦略的提携先との協働拠点など、最適な拠点形態及び候補地を幅広く検討
- 【戦略パートナー開拓】 電力会社、ガス会社、住宅・設備関連事業者等との協議を進め、事業実現可能性の向上
- 【制度・標準対応】 EU 規制及び各国認証制度に加え、国際標準との整合も踏まえた参入スキームを設計
- 【成長計画の具体化検討】 欧州本土進出に向けた中期事業計画・投資計画の策定を開始し、次の成長ドライバーとしての位置づけを整理

本取り組みは、IMTE 及び当社の既存体制を活用して推進するものであり、現時点では大規模な先行投資を伴うものではありません。一方で、今後の進展に応じて、拠点設置、パートナーシップ締結、案件化・サービス提供開始等へと機動的に展開してまいります。

#### 3. 今後の見通し

当社グループは、英国で築いた事業基盤を起点に、欧州本土における成長市場へ踏み出します。これは単なる地理的拡張ではなく、技術開発、国際標準化、現地実装を通じて積み上げてきた競争力を、欧州全体へと展開していく成長戦略そのものです。

現時点において当社連結業績に与える影響は軽微ですが、中長期的にはストック型収益の積み上げによる収益基盤の強化と、エネルギーAI 分野における欧州プレゼンスの向上を通じて、企業価値向上に資するものと考えております。なお、本取り組みにより、拠点設置、重要パートナーシップ締結、受注獲得等の具体的な進展が生じた際には、速やかに開示いたします。

#### 4. 参考：欧州本土主要市場の位置付け

項目	ドイツ	イタリア	フランス
市場性	欧州最大級のヒートポンプ（電気給湯器）・DR 市場	住宅改修需要を背景に成長が続く有望市場	電化住宅・省エネ改修ニーズが厚い有望市場
制度面の追い風	Fit for 55 と補助金政策が導入拡大を後押し	省エネ改修需要と政策支援が追い風	電化・効率化政策との親和性が高い
当社の成長シナリオ	ヒートポンプ（電気給湯器）制御、DR 支援、需要予測	ヒートポンプ（電気給湯器）×太陽光の複合最適制御	家庭向けエネルギー最適化、見える化、生活支援ソリューション

以上